



新村 穰

Minori Shinmura
(24歳)

自転車競技トラックレース

2018年7月～9月度 活動報告

Report - July

● 7月の主な大会・イベント・その他活動

- ・ 7月6日～8日 ジャパントラックカップ
- ・ 7月9日～8月21日 トラック中距離ナショナルチーム合宿

7月6日から8日まで、静岡県・伊豆ベロドロームに於いて行われたジャパントラックカップI/IIの二大会に出場してきました。本大会は、10月より始まる2018-2019シーズンのトラックワールドカップ出場に向けたポイント獲得のための国際大会であり、国内のみならず、オリンピック会場の視察も兼ねて、海外からも多くの選手が集まり、チームメイトの小林泰正選手（競輪選手＝群馬113期）とともにマディソン・オムニアムの種目に参加いたしました。

アメリカ遠征を終えて、久しぶりの公式戦ということもあり、自分の現在の実力が世界チャンピオンであるオーストラリア選手や、ワールドカップでの優勝経験のある香港選手に対して、どれくらい通用するのか、挑戦する気持ちで大会に臨みました。また、小林選手とは、去年のアジア選手権でペアを組んで走った経験もあり、どんな場面になっても、臨機応変に対応できる自信もありました。

そんな中、レースは一週目に起きたパンクの事故に巻き込まれてしまい、転倒した選手を避けることができずにより上げて、後頭部から地面に落下してしまいました。怪我は軽傷だったため、壊れた車輪とヘルメットの交換を行いレースに復帰しましたが、その後も強力な選手の展開に乗り遅れるばかりで、得点を獲得することができないまま6位でのフィニッシュをし、脳震盪の影響もあり、翌日以降のレースも全て棄権することとなりました。

現在は、病院でのMRIやCTなどの精密検査や、医科学スタッフのリハビリについてのアドバイスを経て、通常通りのトレーニングを再開できています。

レースを観ていた方にはたくさんのご心配をおかけしましたが、不本意なレース結果を次の舞台で挽回できるように、今まで以上に厳しい練習にも取り組んで行くつもりです。

また、しばらくはレースを走る機会こそありませんが、普段の練習風景や合宿での生活など、些細なことではありますがTwitterやインスタグラムなどの各種SNSでご覧いただけましたら幸いです。

● 7月のメディア・WEB・ニュース情報

ジャパントラックカップ レースレポート (More cadence)

<https://morecadence.jp/keirin/15950>

アメリカ遠征 フォトレポート (More cadence)

<https://morecadence.jp/keirin/16866>



Report - August

●8月の主な大会・イベント・その他活動

- ・7月9日～8月21日 トラック中距離ナショナルチーム合宿
- ・8月30日～9月4日 松本トラック合宿

中距離ナショナルチームにイアンコーチが就任した新体制になってから、初めての「全日本自転車競技選手権大会トラックレース」が9月8日～9日に伊豆ベロドロームにて行われます。

4年に一度のアジア競技大会への出場が叶わなかったことは、アジア出身の選手として、一つの目標としていただけにとっても残念でしたが、落胆をする暇もなく合宿は続いていき、合宿後もトレーニングメニューを継続して取り組む事ができたのは、自分にとってプラスに繋がったのではないかと思えるようになってきました。

前回の「ジャパントラックカップ」では、練習の成果を発揮するつもりが、アクシデントに巻き込まれ本来の力を発揮する事ができず、悔しさを抑えきれずに気持ちが沈んでいる事も多かったので、また、こうしてレースのスタートラインを迎えられることに感謝しています。携わっていただいたチームの方々、特に医科学スタッフのサポートなしにはこんなに早く戻ってくることはできませんでした。

年に一度、トラックレースの各種目の日本一を決める大会に向けて、ケガは全快しました！直前にも関わらず、厳しいトレーニングメニューが課せられていたおかげで、コンディションも全開とはいきませんが、10月から始まるトラックシーズンの前哨戦として、去年までとは違う走りでレースを展開していきたいと思います。



大会情報など、自転車競技連盟やチームからの情報発信でご確認いただけました幸いです。
JCF（日本自転車競技連盟） https://twitter.com/JCF_cycling

Report - September

●9月の主な大会・イベント・その他活動

9月8～9日 全日本自転車競技選手権大会トラックレース

スクラッチ・マディソン 準優勝

- ・9月15日～17日 取手競輪場合宿
- ・9月25日～29日 国民体育大会自転車競技会

9月8～9日に行われた全日本選手権では、スクラッチが2位、マディソンも2位と日本一のタイトルを獲得することができませんでした。怪我の影響はないものの、体力不足だけでなく、レースに出場する機会が少なくなってしまう、展開をうまく立ち回ることができなかったことも敗因でした。



その後は、オフシーズン最後のトレーニングメニューと月末に開催される国民体育大会に向けてのトレーニングを並行して行いました。福井国体でも、昨年に引き続き連覇が期待されたスクラッチ種目では下位に沈んでしまい、チームスプリント8位、個人ロードレース7位入賞のみの結果となってしまいました。疲労が抜けない中でのレースでコンディションを完全に崩してしまっていました。今は耐えるべき時なのだと思っていて、失敗の経験を次に活かせるように、原因やその時考えていたことをリストアップしています。



出場機会の少ないレースの場で優勝から遠ざかってしまい、歯がゆい思いもありますが、自分自身にしっかりと課題を与え続けて、10月より始まるワールドカップ、アジア選手権、世界選手権のトラックシーズンを戦える力を身につけていきます。